

1. 事業の位置付け

事務事業名	プラネタリウム設備改修事業		
事業担当	社会教育部 博物館		
予算科目	01-100504-070100	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標 1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	① <人間力> 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	06	6 教育施設・機能を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	幼児・児童生徒、一般市民	事業期間	平成22年度～平成22年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
幼児から熟年層にいたる多くの市民が、プラネタリウムでの美しい星空の観察や宇宙の学習により理科好きや最先端科学に強くなっています。		プラネタリウムでの美しい星空の観察や宇宙の学習を行うため、購入後21年が経過し老朽化したプラネタリウム施設を最新の設備に改修します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名		単位	
	説明・算定式			
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	目標値			
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	目標値			
成果指標①	指標名	プラネタリウム設備改修進捗率	単位	%
	説明・算定式			
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	目標値	100	-	-
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	目標値			
事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	プラネタリウムは、市内はもとより周辺地域における児童生徒の理科学習、幼児の情操教育、一般市民の宇宙科学への理解など、広い範囲のニーズにこたえてきています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	プラネタリウムがあることは、児童の中に理科好きが増え、天体観察を通じて科学的合理的な思考をする市民が増えることで他市町にない科学の町を標榜できます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	プラネタリウムは科学的な機能に加えて美術館とのコラボレーション事業など文化芸術面の活用実績もあり、多くの市民の要求に答えることができます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	現状でも近隣市の同等の施設と比べ、効率的な運用をしていますが、更新によりさらに充実した機能で事業運営が可能となります。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析				
21年前に主な対象としていた小・中学生から、今後は熟年層を意識する施設整備を進める必要があります。具体的には、座席の配置と安全な機能、室内のバリアフリー化、音響、照度の設定、入・退場時の導線設定などがあげられます。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成22年度試算額	平成23年度試算額	平成24年度試算額
事業内容		機器改修、スクリーン補修、座席交換、カーペット・壁クロス張替え	リース料支払	リース料支払
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	27,000	20,000	20,000
事業費 (A)		27,000	20,000	20,000
内 訳	職員 (人)	0.20	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
	人件費 (B)	1,672	0	0
フルコスト (A+B)		28,672	20,000	20,000

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性			
プラネタリウム設備の改修 (プラネタリウム機器の改修、ドームスクリーンの塗替え、座席の取替え、カーペットと壁面クロスの張替え) を行います。			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行政改革事業 <input type="checkbox"/> 事務事業	課長コメント	観覧者に鮮明で美しい星空を安全・快適に見ていただくためにスクリーン等の整備は必要と考えます。